

## ■ Fedora 10 手順書 補足

<オンボードグラフィックモデルにおける 3D デスクトップの使用、グラフィックドライバおよび解像度の変更について>

### ■ 3D デスクトップの使用とグラフィックドライバについて

夏目坂モデル、夏目坂 64、行人坂モデルのオンボードグラフィックモデル（マザーボード GIGABYTE EG45M-UD2H、Intel DG45ID）ではデフォルトで汎用グラフィックドライバである vespa が設定されています。（※1）

vesa ドライバで 3D デスクトップを使用しようとすると、真白な画面が表示されます。（※2）

3D デスクトップを使用するためには、グラフィックドライバ設定を intel に変更する必要があります。ただし intel ドライバでは、ディスプレイを DVI 接続で使用すると 4%～8%、VGA 接続で使用すると 20%～30%の頻度でフリーズが起こることが弊社の調査で判明しておりますのでご注意ください。（※3）

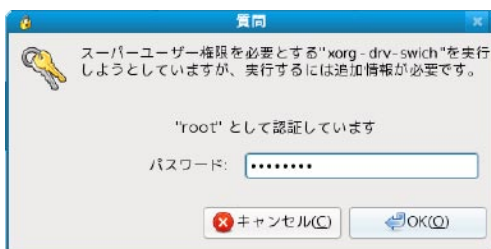
※1 グラフィックカード増設モデルでは、nvidia ドライバが使用されており、3D デスクトップは問題なく動作します。

※2 真白な画面が表示されてしまった場合には、Ctrl + Alt + Backspace キーを押して X を再起動してください。

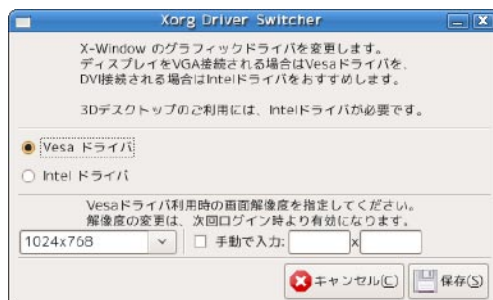
※3 発生確率は、マザーボード GIGABYTE GA-EG45M-DS2H の場合です。GIGABYTE GA-EG45M-UD2H、Intel DG45ID 搭載モデルでも、確率は異なりますが同じ現象が確認されています。画面がフリーズしてしまった場合には、Ctrl + Alt + Del キーを押すか、PC 本体のリセットスイッチを押し、システムを再起動してください。

### ■ グラフィックドライバと画面解像度の変更について

LinuxMania ではグラフィックドライバの設定ファイルを簡単に編集するためのツールをご用意しておりますので、グラフィックドライバを変更される場合には、下記の手順にしたがって設定を行ってください。



1. [システム]>[管理]>[グラフィックドライバの変更] を起動します。
2. 一般ユーザで起動した場合 root のパスワードを聞かれるので入力します。



3. デフォルトでは [Vesa ドライバ] が選択されています。

Vesa ドライバをお使いになる場合、画面解像度の指定が必要になります。お使いのモニタに合わせて解像度を選択してください。お使いのモニタに合った解像度が選択ボックスに表示されていない場合は、手動で入力してください。

※ Vesa ドライバの場合は、メニューバー [システム]>[ハードウェア]>[画面の解像度] からは最適な解像度設定ができない場合があります。



4. [ Intel ドライバ ] を選択し、[ 保存(S) ] ボタンを押します。



5. ダイアログが表示されますので、[ 終了(Q) ] ボタンを押します。

6. マシンを再起動すると設定が反映されます。

7. お使いのモニタに合わせて画面の解像度を変更してください。

[システム]>[ハードウェア]>[画面の解像度]